



## 子規が伝えた野球で勝負 の・ボール親善試合

正岡子規が伝えたと言われる明治時代の野球を再現した「の・ボール野球」の親善試合が6月18日、松山東高校グラウンドで開かれました。今大会は、同野球の審判官で松山東高校OBの稲見達彦さんの追悼試合として開催。内子尚武倶楽部(力石重厚代表)は同校OBによる明教倶楽部と対戦し、2対2の引き分けとなりました。

◀内子高校の卒業生からなる内子尚武倶楽部の皆さん



## 中学生球児が全力でプレー 愛媛県中学軟式野球選手権

7月9、10の両日、大洲球場と内子球場で「第26回愛媛県中学軟式野球選手権大洲支部大会」が開かれました。同大会は毎年「社会を明るくする運動」に賛同して非行予防活動などの一環として開かれており、町内からは4中学校が出場。9日の大洲球場では大瀬中学校と内子中学校が対戦し、白熱した試合を繰り広げました。

◀大瀬中対内子中の試合は、熱戦の結果5対1で内子中学校が勝利



## 子どもたちが遊べる小田川に 内山青年会議所「ミニ小田川大清掃」

内山青年会議所(大西啓介理事長)は7月10日、小田川の河川敷に整備された親水公園「ミニ小田川」の清掃を行いました。この活動は3年前から続けられており、今回は商工会の建設部や青年部、大洲土木事務所などから約50人が参加。先日の大雨で漂着したごみの撤去や草刈りに汗を流しました。

◀子どもたちが楽しみに待つ「元氣わくわく川まつり」に向けて整備



## 環境で地域をもっと元気に 持続可能な地域づくりプロジェクト in 内子

環境を軸に持続可能な地域づくりを考える学習会が7月15日、内子自治センターで開かれました。諸富徹 京都大学大学院教授が「再生可能なエネルギーの活用が地域の発展につながらなければならない」と講演。環境NPOサン・ラブなど町内3団体が温暖化防止の取り組みなどを発表し、幅広い視点で議論が行われました。

◀参加者全員が自分の考えを発表し、活発に意見を交換

## スポーツを通して交流を深める 内子町自治会対抗球技大会

毎年恒例の自治会対抗ソフトボール、レクバレーの決勝大会が6月26日に開かれ、各会場で熱戦が繰り広げられました。

これに先立ち、町内5つの自治センター管内ではそれぞれ予選大会を開催。上位チームが町全体の決勝大会へと進出しました。

ソフトボールは内子運動公園総合グラウンドで開かれ、8自治会が出場。トーナメント形式による予選の後、城廻自治会(新本芳敬会長)と廿日市自治会(佐伯惇之会長)が決勝で対決し、城廻自治会が3年ぶり2度目の優勝を果たしました。

レクバレーは五十崎体育館で開かれ、10自治会が出場。リーグ選による予選を勝ち抜いた平岡自治会(沼井勝弘会長)と廿日市自治会(佐伯惇之会長)が決勝を戦い、平岡自治会が見事2連覇を達成しました。



1ソフトボールで優勝した城廻自治会 2レクバレーで優勝した平岡自治会

## 多様な舞台芸能を楽しんで 内子座でさまざまな催しを開催

7月2、3の両日、内子座で、阿木耀子制作・宇崎竜童音楽監修による「FRAMENCO曾根崎心中」(同内子座公演実行委員会主催)が開かれ、全国各地から延べ約1,300人が来場しました。

同公演は、浄瑠璃作家・近松門左衛門の代表作である「曾根崎心中」の世界をフラメンコで表現した舞台劇。力強いダンスと華麗な演出に魅せられ、終演後は、客席に立ち上がって大きな拍手を送る人たちの姿もありました。また宇崎竜童さんの弾き語りによる同劇のテーマ曲も披露され、歓声が上がっていました。

7日には、宝くじ文化公演の助成を受け、劇団前進座による「さんしょう太夫一説教節より」が上演されました。琵琶や締太鼓など日本古来の楽器の演奏を背景に展開する「安寿と厨子王」の物語に、大勢の観客が息を凝らして見入っていました。

内子座では今後も、8～12月にかけて毎月1～2公演ずつ開催される予定です。



1盛大な拍手に包まれた「FRAMENCO曾根崎心中」のカーテンコール 2劇団前進座の「さんしょう太夫」